

取扱説明書

RadiForce® R12

カラー液晶モニター

重要

ご使用前には必ず取扱説明書をよくお読みになり、
正しくお使いください。
この取扱説明書は大切に保管してください。



絵表示について

本書では以下のような絵表示を使用しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告


この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。




注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性がある内容、および物的損害のみ発生する可能性がある内容を示しています。




注意（警告を含む）を促すものです。たとえば  は「感電注意」を示しています。



禁止の行為を示すものです。たとえば  は「分解禁止」を示しています。



行為を強制したり指示するものです。たとえば  は「アース線を接続すること」を示しています。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

本装置は、社団法人 電子情報技術産業協会(旧日本電子工業振興協会)の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

本装置は、社団法人 電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの漏洩電流に関するガイドライン(PC-11-1988)に適合しております。

本装置は、平成 6 年 10 月 3 日付け経済産業省エネルギー庁公益事業部長通達、6 資公部 第 378 号、家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに適合しております。

当製品を用いる装置を設計・使用する場合は、IEC60601-1-1 の規格要求に従ってください。

Copyright© 2004-2010 株式会社ナナオ All rights reserved.

1. 本書の著作権は株式会社ナナオに帰属します。本書の一部あるいは全部を株式会社ナナオからの事前の許諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
4. 本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
5. 乱丁本、落丁本の場合はお取り替えいたします。販売店までご連絡ください。

Apple、Macintosh は Apple Computer Inc. の登録商標です。

IBM、VGA は International Business Machines Corporation の登録商標です。

VESA、DPMS は Video Electronics Standards Association の商標です。


Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

NEC は日本電気株式の登録商標です。

PowerManager、RadiCS は株式会社ナナオの商標です。EIZO、RadiForce、ScreenManager は株式会社ナナオの日本及びその他の国における登録商標です。

その他の各会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。

もくじ

 使用上の注意	4
第 1 章 はじめに	9
1-1. 特長	9
1-2. 梱包品の確認	9
1-3. 各部の名称	10
第 2 章 接続手順	12
2-1. 接続の前に	12
2-2. 接続手順 (コンピュータ側のコネクタが D-Sub または DVI の場合)	13
2-3. 接続手順 (コンピュータ側のコネクタが ADC の場合)	16
2-4. 2 台のコンピュータをつなぐ	19
第 3 章 ScreenManager	21
3-1. 操作方法	21
3-2. 機能一覧	22
3-3. ファインコントラスト機能	23
3-4. 特殊機能	24
第 4 章 画面調整/設定	26
4-1. 画面調整	26
4-2. 画像が低解像度の場合	30
4-3. カラー調整	32
4-4. 節電設定について	35
第 5 章 USB (Universal Serial Bus) の活用	36
第 6 章 アーム取付方法	38
第 7 章 故障かなと思ったら	40
第 8 章 お手入れ	44
第 9 章 仕様	45
第 10 章 用語集	48
第 11 章 付録	50
廃棄およびリサイクルについて	51

⚠ 使用上の注意

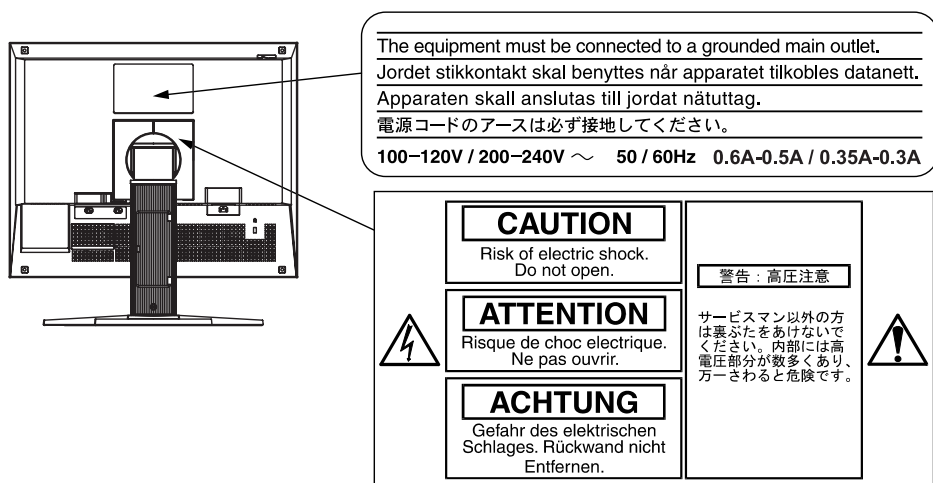
重要

- 本製品は、日本国内専用品です。日本国外での使用に関して、当社は一切責任を負いかねます。

This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

- ご使用前には、「使用上の注意」および本体の「警告表示」をよく読み、必ずお守りください。

【警告表示位置】



【本体に使われている記号】

記号	使われている場所	意味
○	上面	主電源スイッチ 本機の主電源をオフにします。
⏻	上面	主電源スイッチ 本機の主電源をオンにします。
⏻	前面 コントロールパネル	電源ボタン
～	背面 ネームプレート	交流
⚡	背面	危険警告・感電
⚠	背面	注意 取扱説明書内、「絵表示」参照

警告

万一、異常現象（煙、異音、においなど）が発生した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店またはエイゾーサポートに連絡する

そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。



裏ぶたを開けない、製品を改造しない

本製品内部には、高電圧や高温になる部分があり、感電、やけどの原因となります。また、改造は火災、感電の原因となります。



修理は販売店またはエイゾーサポートに依頼する

お客様による修理は火災や感電、故障の原因となりますので、絶対におやめください。



異物を入れない、液体を置かない

本製品内部に金属、燃えやすい物や液体が入ると、火災や感電、故障の原因となります。

万一、本製品内部に液体をこぼしたり、異物を落とした場合には、すぐに電源プラグを抜き、販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。



丈夫で安定した場所に置く

不安定な場所に置くと、落下することがあり、けがの原因となります。

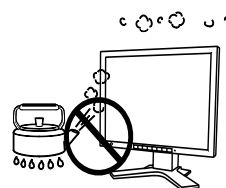
万一、落とした場合は電源プラグを抜いて、販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。



次のような場所には置かない

火災や感電、故障の原因となります。

- 屋外。車両・船舶などへの搭載。
- 湿気やほこりの多い場所。浴室、水場など。
- 油煙や湯気が直接当たる場所や熱器具、加湿器の近く。
- 可燃性ガスのある環境。



プラスチック袋は子供の手の届かない場所に保管する

包装用のプラスチック袋をかぶったりすると窒息の原因となります。



警告

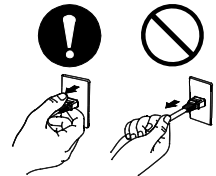
付属の電源コードを 100VAC 電源に接続して使用する

付属の電源コードは日本国内 100VAC 専用品です。
誤った接続をすると火災や感電の原因となります。



電源コードを抜くときは、プラグ部分を持つ

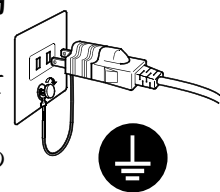
コード部分を引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となります。



電源コンセントが二芯の場合、付属の二芯アダプタを使用し、安全（感電防止）および電磁界輻射低減のため、アースリード（緑）を必ず接地する

なお、アースリードは電源プラグをつなぐ前に接続し、電源プラグを抜いてから外してください。順序を守らないと感電の原因となります。

二芯アダプタのアースリード、および三芯プラグのアースが、コンセントの他の電極に接触しないようにしてください。



次のような誤った電源接続をしない

誤った接続は火災、感電、故障の原因となります。

- 取扱説明書で指定された電源電圧以外への接続。
- タコ足配線。



電源コードを傷つけない

電源コードに重いものをのせる、引っ張る、束ねて結ぶなどをしないでください。電源コードが破損（芯線の露出、断線など）し、火災や感電の原因となります。



雷が鳴り出したら、電源プラグやコードには触れない

感電の原因となります。



アーム（または他のスタンド）を使用する場合は、それらの取扱説明書の指示にしたがい、本機に付属のネジを使用し、確実に設置する

確実に設置されていないと、外れたり、倒れたりしてけがや故障の原因となります。万一、落とした場合は電源プラグを抜いて、販売店またはエイザーサポートにご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。また、取り外したスタンドを再度取り付ける場合には必ず元のネジを使用し、確実に固定してください。



警告

液晶パネルが破損した場合、破損部分に直接素手で触れない

もし触れてしまった場合には、手をよく洗ってください。

万一、漏れ出た液晶が、誤って口や目に入った場合には、すぐに口や目をよく洗い、医師の診断を受けてください。そのまま放置した場合、中毒を起こす恐れがあります。



注意

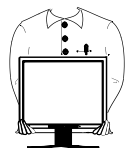
運搬のときは、接続コードやオプション品を外す

コードを引っ掛けたり、移動中にオプション品が外れたりして、けがの原因となります。



本製品を移動させるときは、右図のように画面の下部を両手で持つ

落したりするとけがや故障の原因となります。



通風孔をふさがない

- 通風孔の上や周囲にものを置かない。
- 風通しの悪い、狭いところに置かない。
- 横倒しや逆さにして使わない。

通風孔をふさぐと、内部が高温になり、火災や感電、故障の原因となります。



濡れた手で電源プラグに触れない

感電の原因となります。



電源プラグの周囲にものを置かない

火災や感電防止のため、異常が起きた時すぐ電源プラグを抜けるようにしておいてください。



電源プラグ周辺は定期的に掃除する

ほこり、水、油などが付着すると火災の原因となります。



クリーニングの際は電源プラグを抜く

プラグを差したままでおこなうと、感電の原因となります。



長時間使用しない場合には、安全および省エネルギーのため、本体の電源スイッチを切った後、電源プラグも抜く



液晶パネルについて

経年使用による輝度変化を抑え、安定した輝度を保つために、明るさは 160cd/m^2 （ブライトネス約 70%）以下でご使用ください。

画面上に欠点、発光している少数のドットが見られることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、製品本体の欠陥ではありません。

液晶パネルに使用される蛍光管（バックライト）には寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたり、点灯しなくなったときには、販売店またはエイゾーサポートにお問い合わせください。

液晶パネル面やパネルの外枠は強く押さないでください。強く押すと、干渉縞が発生するなど表示異常を起こすことがありますので取り扱いにご注意ください。また、液晶パネル面に圧力を加えたままにしておきますと、液晶の劣化や、パネルの破損などにつながる恐れがあります。（液晶パネルを押したあとが残った場合、画面全体に白い画像を表示すると解消されることがあります。）

液晶パネルを固いものや先の尖ったもの（ペン先、ピンセット）などで押したり、こすったりしないようにしてください。傷がつく恐れがあります。なお、ティッシュペーパーなどで強くこすっても傷が入りますのでご注意ください。

同じ画像を長時間表示することによって、表示を変えたときに前の画像が残像として見えることがあります。長時間同じ画像を表示するようなときには、スクリーンセーバーやタイマー機能の活用をおすすめします。

本製品を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、製品の表面や内部に露が生じることがあります（結露）。結露が生じた場合は、結露がなくなるまで製品の電源を入れずにお待ちください。そのまま使用すると故障の原因となることがあります。

第 1 章 はじめに

このたびは当社カラー液晶モニターをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

1-1. 特長

- 2 系統信号入力搭載 (DVI-I コネクタ×2)
- DVI (p.49) デジタル入力 (TMDS (p.49)) 対応
- 水平周波数：アナログ信号入力時 30～82kHz、デジタル信号入力時 30～65kHz
垂直周波数：アナログ信号入力時 49～86Hz (1280x1024 モード時 49～75Hz)
デジタル信号入力時 59～61Hz、(VGA TEXT 時 69～71Hz)
フレーム同期モード対応周波数： 57.5～67Hz
- 表示解像度：1M ピクセル (1280 ドット×1024 ライン)
- スムージング (ソフト～シャープ) 機能搭載 (拡大表示時、p.30)
- DICOM (p.49) Part 14 に準拠した画面選択が可能 (ファインコントラスト機能、p.23)
- モニターの階調設定をコンピュータからコントロールすることができる、ユーティリティソフトウェア「ToneCurve Tuning Utility ソフトウェア」を添付 (トーンカーブチューニングユーティリティディスク (ToneCurve Tuning Utility Disk) を参照)
- マウスやキーボードを使って操作できるユーティリティソフトウェア「ScreenManager Pro for LCD (Windows 用)」を添付 (EIZO LCD ユーティリティディスクを参照)
- 高さ調整機能付きスタンドによる、自由な高さ調整
- スリムエッジ (狭額縁) 仕様
- 縦型表示対応

1-2. 梱包品の確認

以下のものがすべて入っているか確認してください。万一、不足しているものや破損しているものがある場合は、販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。

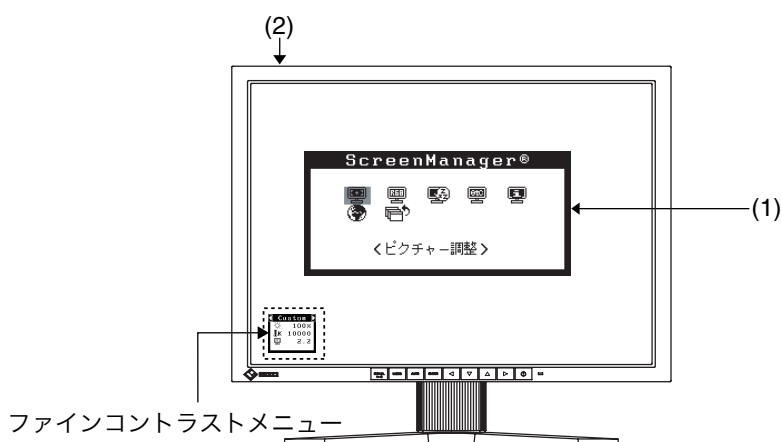
- | | |
|--------------------------|--|
| ● モニター本体 | ● 「EIZO LCD ユーティリティディスク」 |
| ● 電源コード | ● 「トーンカーブチューニングユーティリティディスク」
(ToneCurve Tuning Utility Disk) |
| ● 二芯アダプタ | |
| ● 信号ケーブル (FD-C35/FD-C39) | ● 取扱説明書 (本書) |
| ● 信号ケーブル (FD-C16) | ● ScreenManager クイックリファレンス |
| ● EIZO USB ケーブル (MD-C93) | ● 保証書 |

参考

- 梱包箱や梱包材は、本機の移動や輸送用に保管していただくことをおすすめします。

1-3. 各部の名称

前面



- (1) ScreenManager®メインメニュー
(2) IO 主電源スイッチ
(3) SIGNAL1-2 入力切替ボタン
(4) MODE モードボタン※¹
(5) AUTO オートボタン
(6) ENTER エンターボタン
(7) ◀▶▶▶ コントロールボタン (左・下・上・右) ※²
(8) 電源ボタン
(9) 電源ランプ※³

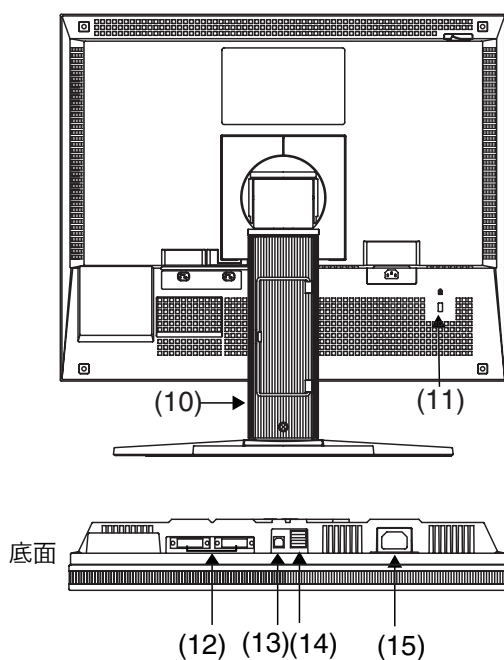
青	オペレーションモード
黄/黄 2 回点滅	節電モード
黄ゆっくり点滅	電源ボタンオフ状態 (主電源スイッチオン)
消灯	電源オフ

※¹ モードボタンを一回押すと、ファインコントラストメニューが表示されます。モードボタンをくり返し押すと、ファインコントラストモードの切替ができます。(ScreenManager のメインメニューとファインコントラストメニューは同時に表示することができません。) (p.23参照)

※² ScreenManager<その他>メニューの<設置方向> (p.22参照) を「縦置き」に設定すると、上・左・右・下に変わります。

※³ 画面表示時 (オペレーションモード) の電源ランプ (青) を無灯にすることができます。(p.22参照) オフタイマー設定時の電源ランプ表示については p.24を参照してください。

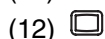
背面



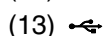
(10) 高さ調整機能付きスタンド※⁴



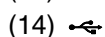
盗難防止用ロック※⁵



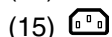
DVI-I コネクタ×2 (SIGNAL1、SIGNAL2)



USB アップストリームポート (1 ポート)



USB ダウンストリームポート (2 ポート)



電源コネクタ

※⁴ 本機はモニターの縦型表示に対応しています。(時計回りに 90 度回転させることができます。)

また、本機はスタンド部分を取り外してアーム (別のスタンド) を取り付けることができます。(p.38参照)

※⁵ 盗難防止用ロックは、Kensington 社製のマイクロサーバーセキュリティシステムに対応しています。

第 2 章 接続手順

2-1. 接続の前に

今まで使用していたモニターを本機に置き換える場合、コンピュータと接続する前に下表を参照して、必ず本機で表示できる解像度（p.48）、周波数に変更しておいてください。

参考

- DDC に対応したシステムの場合、本機をコンピュータに接続するだけで特別な設定をすることなく、最適な解像度、リフレッシュレートの設定が可能になります。

アナログ信号入力をする場合

解像度	垂直周波数	ドットクロック	備考
640 × 480	～85 Hz	135 MHz (最大)	VGA, VESA
640 × 480	67 Hz		Apple Macintosh
720 × 400	70 Hz		VGA TEXT
720 × 480	60 Hz		VESA
800 × 600	～85 Hz		VESA
832 × 624	75 Hz		Apple Macintosh
1024 × 768	～85 Hz		VESA
1152 × 864	75 Hz		VESA
1152 × 870	75 Hz		Apple Macintosh
1152 × 900	～76 Hz		SUN WS
1280 × 960	60 Hz		VESA
1280 × 960	75 Hz		Apple Macintosh
1280 × 1024	67 Hz		SUN WS
1280 × 1024	～75 Hz		VESA

デジタル信号入力をする場合

下記解像度にのみ対応しています。

解像度	垂直周波数	ドットクロック	備考
640 × 480	60 Hz	108 MHz (最大)	VGA
720 × 400	70 Hz		VGA Text
800 × 600	60 Hz		VESA
1024 × 768	60 Hz		VESA
1280 × 1024	60 Hz		VESA

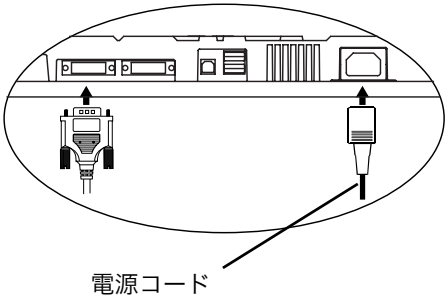
2-2. 接続手順（コンピュータ側のコネクタが D-Sub または DVI の場合）

注意点

- モニターとコンピュータの電源が入っていないことを確認してください。

1. 信号ケーブルを信号入力コネクタとコンピュータに接続します。

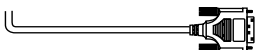
信号ケーブル接続後、各コネクタの固定ネジを最後までしっかりと回して、確実に固定してください。



アナログ信号を入力する場合

ケーブル	コネクタ	コンピュータ
信号ケーブル（付属 FD-C16） 	ビデオ出力コネクタ/ D-Sub15 ピン（ミニ） モニター側入力コネクタ/ DVI	● DOS/V マシン ● Power Macintosh G3 （Blue&White） / Power Mac G4（VGA）
信号ケーブル（付属 FD-C16） +M6A*（別売） 	ビデオ出力コネクタ/ D-Sub15 ピン モニター側入力コネクタ/ DVI	● Macintosh （*Macintosh 用アダプタ）

デジタル信号を入力する場合

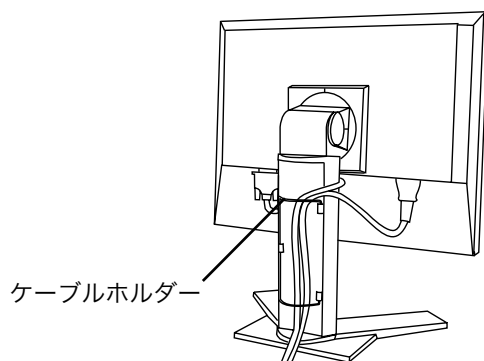
ケーブル	コネクタ	コンピュータ
信号ケーブル (付属 FD-C35 / FD-C39) 	ビデオ出力コネクタ /DVI モニター側入力コネクタ/DVI	● デジタルグラフィックスボード ● Power Mac G4 / G5 (DVI)

2. 付属の電源コードを電源コネクタに接続します。

3. ケーブル類をケーブルホルダーに収納します。

注意点

- ケーブル類を収納する際は、スタンドの昇降、縦型表示を考慮して、長さにより多少の余裕をもたせてください。また、ケーブル挿入口側にケーブル類を引き回して収納してください。



4. 電源コードを電源コンセントに接続します。

電源ランプが点灯（黄色でゆっくり点滅）します。



付属の電源コードを 100VAC 電源に接続して使用する

付属の電源コードは日本国内 100VAC 専用品です。

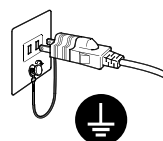
誤った接続をすると火災や感電の原因となります。



警告

電源コンセントが二芯の場合、付属の二芯アダプタを使用し、安全および電磁界輻射低減のため、アースリード（緑）を必ず接地する

なお、アースリードは電源プラグをつなぐ前に接続し、電源プラグを抜いてから外してください。順序を守らないと感電の原因となります。二芯アダプタのアースリード、および三芯プラグのアースが、コンセントの他の電極に接触しないようにしてください。



5. コンピュータの電源を入れます。

電源ランプが点灯（青色）し、画面が表示されます。

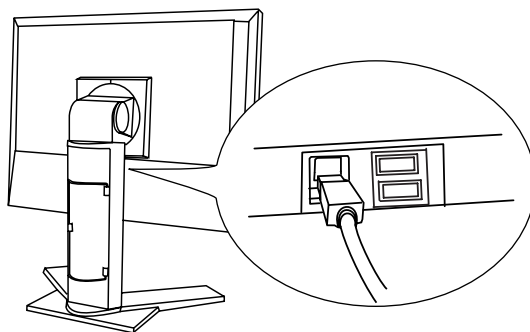
電源スイッチを入れても画面が表示されない場合には、「第7章 故障かなと思ったら（p.40）」を参照してください。使用後は、電源を切ってください。

参考

- 電源を入れると、画面右上に入力されている信号の種類（入力信号1または2/アナログまたはデジタル）がおおよそ2秒間表示されます。
- 画面が暗すぎたり、明るすぎたりすると目に悪影響を及ぼすことがあります。状況に応じてモニター画面の明るさを調整してください。
- 長時間モニター画面を見続けると目が疲れますので、1時間に10分程度の休憩を取ってください。

6. 「ScreenManager Pro for LCD（Windows用）」を使用する場合、USB対応のコンピュータ（あるいは他のUSBハブ）のダウンストリームとモニターのアップストリームをUSBケーブルで接続します。

USBケーブルを接続すると自動的にUSB機能がセットアップされます。ユーティリティソフトウェア「ScreenManager Pro for LCD」については「EIZO LCD ユーティリティディスク」内 readme.txt を参照してください。



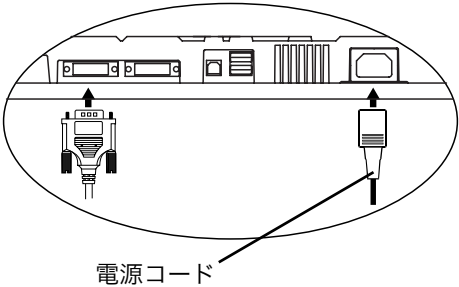
2-3. 接続手順（コンピュータ側のコネクタが ADC の場合）

注意点

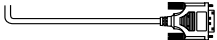
- モニターとコンピュータの電源が入っていないことを確認してください。

1. 信号ケーブルを信号入力コネクタとコンピュータに接続します。

信号ケーブル接続後、各コネクタの固定ネジを最後までしっかりと回して、確実に固定してください。



ADC からの信号を入力する場合

ケーブル	コネクタ	コンピュータ
信号ケーブル (付属 FD-C35/FD-C39) +ADC -DVI 変換アダプタ (市 販品) 	ビデオ出力コネクタ/ ADC モニター側入力コネクタ/ DVI	● Power Mac G4 / G5 (ADC)

注意点

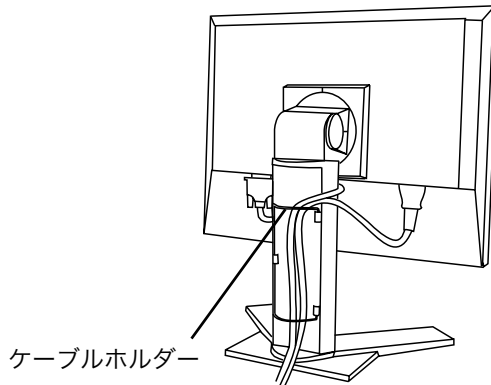
- Power Mac G4/G4 Cube / G5 の ADC（Apple Display Connector）と接続する場合は、市販の ADC-DVI 変換アダプタが必要です。

2. 付属の電源コードを電源コネクタに接続します。

3. ケーブル類をケーブルホルダーに収納します。

注意点

- ケーブル類を収納する際は、スタンドの昇降、縦型表示を考慮して、長さに多少の余裕を持たせてください。



4. 電源コードを電源コンセントに接続します。

電源ランプが点灯（黄色でゆっくり点滅）します。



警告

付属の電源コードを 100VAC 電源に接続して使用する

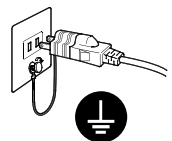
付属の電源コードは日本国内 100VAC 専用品です。

誤った接続をすると火災や感電の原因となります。



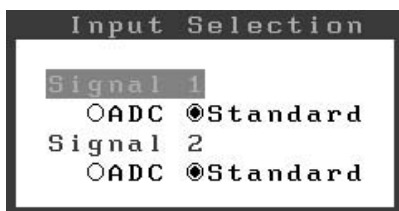
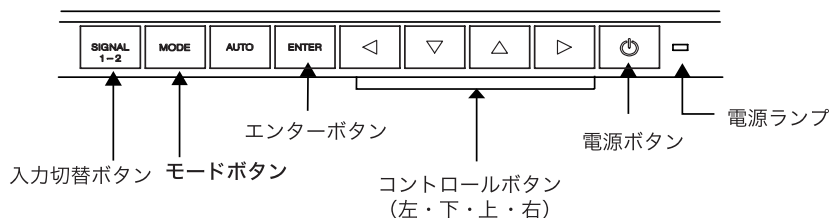
電源コンセントが二芯の場合、付属の二芯アダプタを使用し、安全および電磁界輻射低減のため、アースリード（緑）を必ず接地する

なお、アースリードは電源プラグをつなぐ前に接続し、電源プラグを抜いてから外してください。順序を守らないと感電の原因となります。二芯アダプタのアースリード、および三芯プラグのアースが、コンセントの他の電極に接触しないようにしてください。



5. コントロールパネルの入力切替ボタンを押しながら、電源ボタンを押します。

入力選択メニューが表示されます。



6. 入力選択を、コントロールボタンで「ADC」に変更します。

エンターボタンを押すと設定が完了し、メニューは終了します。

7. コンピュータの電源を入れます。

電源ランプが点灯（青色）し、画面が表示されます。

電源スイッチを入れても画面が表示されない場合には、「第7章 故障かなと思ったら」(p.40)を参照してください。

使用後は、電源を切ってください。

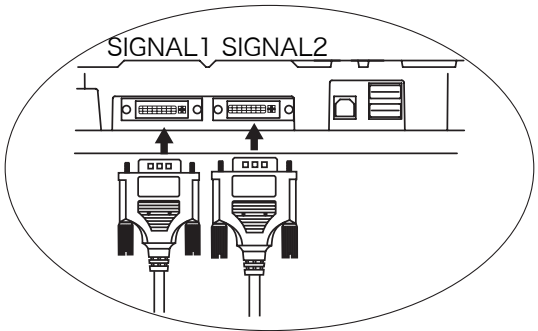
注意点

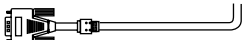

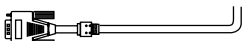



- ADC 以外の信号コネクタと接続する場合は、入力選択の設定を「標準」に戻してから、コンピュータの電源を入れてください。

2-4. 2 台のコンピュータをつなぐ

本機は、背面の DVI-I コネクタ (SIGNAL1/SIGNAL2) に 2 台のコンピュータを接続し、切り替えて表示することができます。

接続例

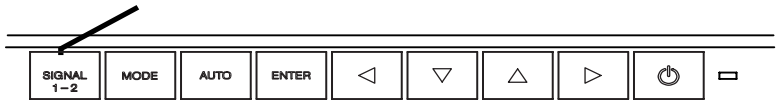


	コンピュータ 1			コンピュータ 2		
例 1	アナログ	D-Sub 15 ピン (ミニ)	信号ケーブル (付属 FD-C16) 	信号ケーブル (付属 FD-C35/FD-C39) 	DVI	デジタル
例 2	アナログ	D-Sub 15 ピン (ミニ)	信号ケーブル (付属 FD-C16) 	信号ケーブル VI200 (別売) 	D-Sub 15 ピン (ミニ)	アナログ
例 3	デジタル	DVI	信号ケーブル (付属 FD-C35/FD-C39) 	信号ケーブル DD200 (別売) 	DVI	デジタル

入力信号の切り替え方法

コントロールパネルの入力切替ボタンで切り替えます。押すたびに信号が切り替わります。なお、信号を切り替えた時には、現在表示されている信号の種類 (入力信号 1 または 2 / アナログまたはデジタル) が画面右上に 2 秒間表示されます。

入力切替ボタン



優先的に表示される信号を設定する

2台のコンピュータを接続した時、どちらか一方のコンピュータを優先的に表示させることができます。モニターは定期的に入力信号を確認し、＜入力プライオリティ＞設定で優先のおかれている信号が入力されてきた場合、そちらの信号に自動で切り替わります。

コンピュータが1台しか接続されていない場合は、優先信号が入力信号1または2のどちらに設定されていても、信号は自動検知されます。

優先設定	機能
1 (入力信号1)	コンピュータが2台接続されている場合は、以下の場合に優先入力設定が機能します。 <ul style="list-style-type: none">● モニターの電源を入れたとき● 「入力信号2」を表示していても、「入力信号1」の信号状態が変化した場合
2 (入力信号2)	コンピュータが2台接続されている場合は、以下の場合に優先入力設定が機能します。 <ul style="list-style-type: none">● モニターの電源を入れたとき● 「入力信号1」を表示していても、「入力信号2」の信号状態が変化した場合
マニュアル	コンピュータの信号を自動検知しません。表示させたいコンピュータの信号が接続されているコネクタをコントロールパネルの入力切替ボタンで選択してください。

参考

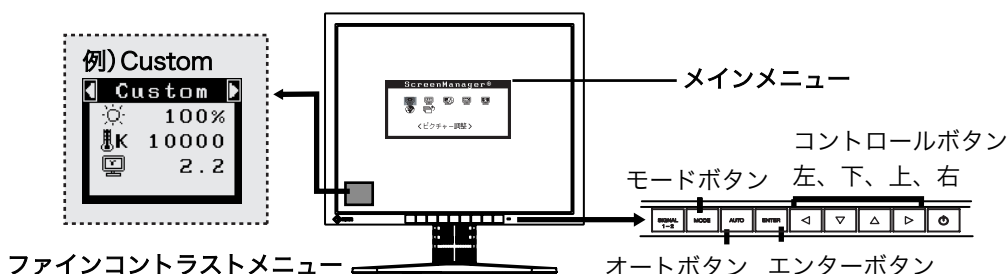
● 節電機能について

＜入力プライオリティ＞で「1」または「2」が選択されている場合は、2台のコンピュータの両方が節電モードに入っている場合のみモニターの節電機能が動作します。

第 3 章 ScreenManager

3-1. 操作方法

画面調整/設定とファインコントラストモードの切り替えを簡単におこなえます。



注意点

- メインメニューとファインコントラストメニューを同時に表示することはできません。

1. メニューの表示

コントロールパネルのエンターボタンを押し、メインメニューを表示します。

2. 調整/設定

- (1) コントロールボタンで、調整/設定したい項目を選択し、エンターボタンを押して、選択した項目のサブメニューを表示します。
- (2) コントロールボタンで、調整/設定したい項目を選択し、エンターボタンを押して、選択した項目の調整/設定メニューを表示します。
- (3) コントロールボタンで調整/設定し、エンターボタンを押して確定します。

3. 終了

- (1) サブメニューより<リターン>を選択し（下ボタンを 2 回押すと移動します。）、エンターボタンを押して、メインメニューに戻ります。
- (2) メインメニューより<メニューオフ>を選択し（下ボタンを 2 回押すと移動します。）、エンターボタンを押して、ScreenManager を終了します。

注意点

- エンターボタンをすばやく続けて 2 回押しても、ScreenManager を終了させることができます。

ファインコントラストメニュー

モードボタンを押すと、ファインコントラストモードの切り替えができます。
(Custom、sRGB、CAL、Text、DICOM-CL、DICOM-BL) エンターボタンを押すと終了します。(参照 p.23)

3-2. 機能一覧

ScreenManager の調整、および設定項目一覧表です。

「*」はアナログ信号入力のみ、「**」はデジタル信号入力のための機能です。

メインメニュー	サブメニュー		調整/設定内容
ピクチャー調整	クロック	*	「4-1. 画面調整」(p.26) 参照
	フェーズ	*	
	ポジション	*	
	解像度	*	
	レンジ調整	*	
	スムージング		
	信号フィルタ	*	
カラー※1	ブライトネス		「4-3. カラー調整」(p.32) 参照
	色温度		
	ガンマ		
	色の濃さ		
	色合い		
	ゲイン		
	6色調整		
	ロック解除		
	リセット		
PowerManager	DVI DMPM	**	「4-4. 節電設定について」(p.34) 参照
	VESA DPMS	*	
その他	拡大モード		「4-2. 画像が低解像度の場合」(p.30) 参照
	ボーダー		
	入力プライオリティ		優先的に表示される信号を選択する (p.20)
	オフタイマー		タイマー(使用時間)を設定する (p.24)
	ピープ音		ピープ音を設定する (p.46)
	メニュー設定	サイズ	メニューサイズを拡大する
		ポジション	メニュー位置を移動する
		オフタイマー	メニュー表示時間を設定する※2
		半透明	メニューの透明度を設定する
	設置方向		メニューの向きを 90 度回転する
	電源ランプ		画面表示時の電源ランプ(青)を無灯にする (p.25)
	リセット		調整/設定状態をすべて初期設定に戻す (p.46)
インフォメーション	インフォメーション		設定状況および機種名、製造番号、モニターの使用時間※3を確認する
言語選択	英語・ドイツ語・フランス語・スペイン語・イタリア語・スウェーデン語・日本語		ScreenManager の言語を選択する

※1 <カラー>メニューで調整/設定できる機能はファインコントラストモードにより異なります。(p.32)

※2 ファインコントラストメニューの表示時間は変更されません。

※3 工場検査などのため、購入時に使用時間が「0」ではない場合があります。

3-3. ファインコントラスト機能

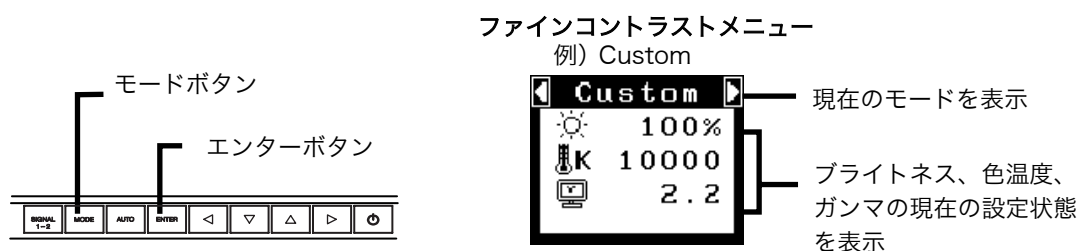
モニターの明るさなどを表示画像に適した設定に変更できます。

ファインコントラストモードを選択する

モードボタンを押すと、ファインコントラストメニューが画面左下に表示されます。ボタンを押すたびに6つのモードが切り替わり表示されます。

終了

エンターボタンを押すと終了します。



ファインコントラストモードの種類

表示画像に最適な表示モード（6種類）を選択できます。

モード	目的
Custom	好みに応じた色設定
sRGB	インターネット上などで、原画像に基づいた色合いで表示
CAL	キャリブレーション用
Text	ワープロや計算ソフトなどの文字画面表示
DICOM-CL	X線フィルム色（Clear Base）に合わせた設定
DICOM-BL	X線フィルム色（Blue Base）に合わせた設定

ファインコントラストモードのカラー設定を変更する

ファインコントラストメニューで<ブライトネス>、<色温度>、<ガンマ>の調整/設定ができます。上・下のコントロールボタンで調整/設定したい項目を選択し、左・右のコントロールボタンで調整/設定します。（色温度、ガンマの値はモードによっては固定(Fixed)されています。（参照 p.32））

詳細な調整

ScreenManager の<カラー>メニューでは各モードごとにさらに詳細なカラー調整ができます。（参照 p.32）

3-4. 特殊機能

調整ロック機能

一度調整/設定した状態をむやみに変更したくないときにご利用ください。

ロックされる機能	<ul style="list-style-type: none">● ScreenManager による調整/設定● オートボタン● モードボタンによる FineContrast モードの選択/調整
ロックされない機能	<ul style="list-style-type: none">● 入力切替ボタン

[設定方法]

- (1) コントロールパネルの電源ボタンを押していったん電源を切ります。
- (2) オートボタンを押しながら電源を入れると、調整ロックがかかり画面が表示されます。

[解除方法]

- (1) コントロールパネルの電源ボタンを押していったん電源を切ります。
- (2) オートボタンを押しながら再度電源を入れると、調整ロックが解除され画面が表示されます。

タイマー機能

モニターの使用時間を設定することにより、設定した時間が終了すると自動的にモニターの電源がオフされます。モニターに長時間同じ画像を表示させていると生じる残像現象を軽減するための機能です。一日中同じ画像を表示しておくような場合にご利用ください。

[設定方法]

- (1) ScreenManager<その他>メニューより<オフタイマー>を選択します。
- (2) 「有効」を選択した後、モニターの使用時間（1H～23H）を設定します。

[オフタイマーの流れ]

タイマー	モニターの状態	電源ランプ
設定時間（1 H～23H）	オン	青点灯
設定時間終了 15 分前	予告期間 ^{*1}	青点滅
設定時間終了後	電源オフ	黄ゆっくり点滅

^{*1} 予告期間中にコントロールパネルの電源ボタンを押すと、押した時点から 90 分延長することができます。延長は制限がなく何度でもできます。

[復帰方法]

コントロールパネルの電源ボタンを押します。

注意点

- 節電モード時でもオフタイマーは機能しますが、予告機能は働きません。予告なしに電源がオフされます。

電源ランプ設定

画面表示時の電源ランプ（青）を無灯にすることができます（初期設定では、電源ランプは電源を入れたときに点灯します）。

[設定方法]

- (1) ScreenManager の＜その他＞メニューより＜電源ランプ＞を選択します。
- (2) 「無効」に設定します。

シンクスイッチ設定

画面全体が緑っぽく表示される際に、信号の入力タイミングを変えて画面の表示設定を切り替えることができます。

[設定方法]

- (1) 主電源スイッチをオフにします。
- (2) コントロールパネルの下ボタンを押しながら主電源スイッチをオンにします。
- (3) シンクスイッチの設定が変更され、画面が表示されます。

[解除方法]

- (1) 主電源スイッチをオフにします。
- (2) コントロールパネルの下ボタンを押しながら主電源スイッチをオンにします。
- (3) シンクスイッチの設定が解除され、画面が表示されます。

EIZO ロゴ非表示機能

本機の電源を入れた時に、EIZO ロゴが画面中央に表示されます。このロゴの表示/非表示の切り替えができます。（初期設定ではロゴが表示されます。）

[設定方法]

コントロールパネルの電源ボタンを押して、いったん電源を切ります。その後、エンターボタンを押しながら電源を入れると、ロゴが表示されなくなります。

[解除方法]

コントロールパネルの電源ボタンを押して、いったん電源を切ります。その後、エンターボタンを押しながら電源を入れると、再びロゴが表示されます。

第 4 章 画面調整/設定

デジタル信号入力の場合は、本機の設定データに基づいて画面が正しく表示されます。

4-1. 画面調整

注意点

- 調整はモニターの電源を入れて、20 分以上経過してからおこなってください。（内部の電気部品の動作が安定するのに約 20 分かかります。）

アナログ信号入力の場合

液晶モニターの画面の調整とは、使用するシステムに合わせ、画面のちらつきを抑えたり画像の表示位置やサイズを正しく調整するためのものです。快適に使用していただくために、モニターを初めてセットアップしたときや使用しているシステムの設定を変更した場合には、ScreenManager を使用して画面を調整していただくことをおすすめします。付属の「EIZO LCD ユーティリティディスク」に画面調整用プログラムが含まれていますのでご利用ください。

調整手順

1. コントロールパネルのオートボタンを押します。

“もう一度オートボタンを押すとオートアジャストが実行されます”のメッセージが 5 秒間表示されます。メッセージが表示されている間にもう一度オートボタンを押すと、自動調整機能が働き（動作中であることを示すメッセージが表示されます）、クロック、フェーズ、表示位置、解像度が調整されます。

注意点

- この機能は Macintosh や Windows など画面の表示可能エリア全体に画像が表示されている場合に正しく動作します。
DOS プロンプトのような画面の一部にしか画像が表示されていない場合や、壁紙など背景を黒で使用している場合には正しく動作しません。
一部のグラフィックスボードで正しく動作しない場合があります。

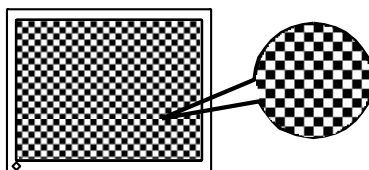
オートボタンで調整しきれない場合は以降の手順にしたがって調整をおこなってください。正確に表示された場合は、手順 4 にお進みください。

2. 画面調整用プログラムを起動します。

「EIZO LCD ユーティリティディスク」(付属品)より、ご使用のシステムに対応した「画面調整プログラム」をディスク内の readmeja.txt あるいは「お読みください」ファイルにしたがって起動します。起動後はプログラムの指示にしたがって調整してください。(Windows をお使いの方は「EIZO LCD ユーティリティディスク」の起動メニューから、直接実行できます。)


参考

- ご使用のシステムに対応したプログラムがない場合は、画面に 1 ドット抜きのパターン (下記参照) などを表示して以下の手順に進んでください。



3. ScreenManager の<ピクチャー調整>メニューにより調整します。

(1) 縦縞が出ている場合


→  クロック (p.48) を調整します。

<クロック>を選択し、左・右のコントロールボタンを使用して縦縞が消えるように調整します。調整が合ったポイントを見逃しやすいので、コントロールボタンはゆっくり押して調整するようにしてください。

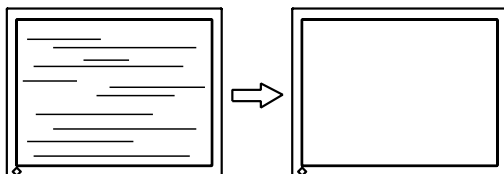
調整後、画面全体ににじみやちらつき、横線が出た場合は次の「(2)フェーズ調整」にすみ調整をおこなってください。



(2) ちらついたり、にじむように見える場合

→  フェーズ (p.48) を調整します。


<フェーズ>を選択し、左・右のコントロールボタンを使用して最もちらつきやにじみのない画面に調整します。



注意点

- お使いのコンピュータやグラフィックスボードによっては、完全になくなることがあります。

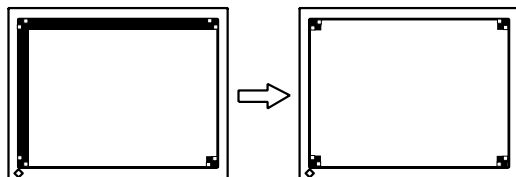
(3) 表示位置がずれている場合

→  ポジションを調整します。


液晶モニターは画素数および画素位置が固定であるため、画像の正しい表示位置は1箇所です。ポジション調整とは画像を正しい位置に移動させるための調整です。

<ポジション>を選択し、画像の左上とマーカーが合うように上・下・左・右のコントロールボタンで調整します。

調整後、画面に縦縞が現れた場合は、「(1)クロック調整」に戻り、再度調整をおこなってください。(クロック→フェーズ→ポジション)

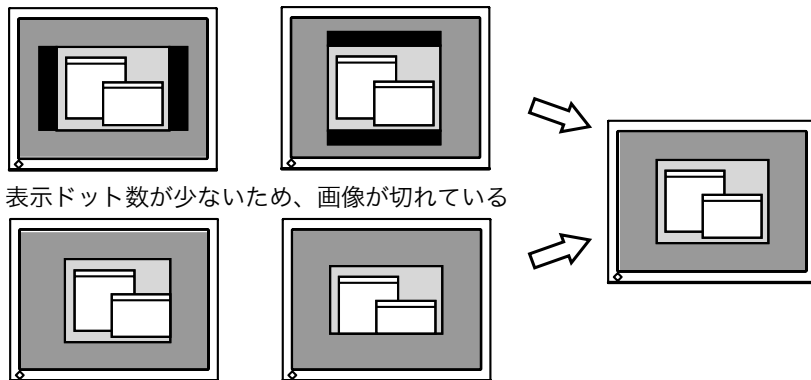


(4) 余分な画像が表示されていたり、画像が切れている場合

→  解像度を確認します。


<解像度>を選択し、調整メニューに表示されている解像度と、入力信号の解像度が同じになるように上・下のコントロールボタンで垂直方向の、左・右のコントロールボタンで水平方向の解像度を調整します。

表示ドット数が多いため、余分な画像が表示されている



表示ドット数が少ないため、画像が切れている

4. 信号の出力レンジ（レンジ調整）を調整します。

→  <ピクチャー調整>メニューの<レンジ調整>（p.48）で調整します。

信号の出力レベルを調整し、すべての色階調（0～255）を表示できるように調整します。


[設定方法]

<ピクチャー調整>メニューより<レンジ調整>の調整メニューを表示させた状態で、コントロールパネルのオートボタンを押します。出力レンジが自動的に調整され、最大の色階調で画像を表示します。

4-2. 画像が低解像度の場合

VGA640x480 などの低解像度は 1280x1024 に（画面いっぱいに）自動的に拡大されますが、＜その他＞メニューの＜拡大モード＞機能を使用して表示サイズを切り替えることができます。

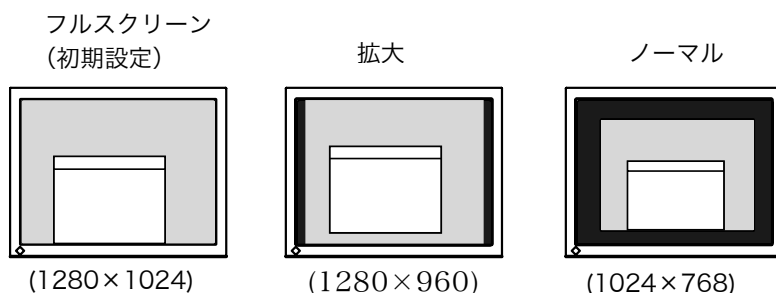
1. 画像の表示サイズを変更する場合

→  拡大モードで切り替えます。


＜その他＞メニューより＜拡大モード＞を選択し、上・下のコントロールボタンでモード（拡大／ノーマル）を選択します。

メニュー	機能
フルスクリーン	画面いっぱいに画像を表示します。ただし、拡大比率は縦・横一定ではないため、表示画像に歪みが見られる場合があります。
拡大	画面いっぱいに画像を表示します。ただし、拡大比率を縦・横一定にするため、水平・垂直のどちらかの方向に画像が表示されない部分が残る場合があります。
ノーマル	設定した解像度のままの大きさで画像が表示されます。

例：1024x768 を表示した場合



2. 文字や線がぼやけてみえる場合

→  ＜スムージング＞の設定を切り替えます。


低解像度を「フルスクリーン」、「拡大」モードで表示した場合、表示された画像の文字や線がぼやけて見える場合があります。

＜ピクチャー調整＞メニューより＜スムージング＞を選択し、1～5 段階（ソフト～シャープ）から好みに応じて選択します。

注意点

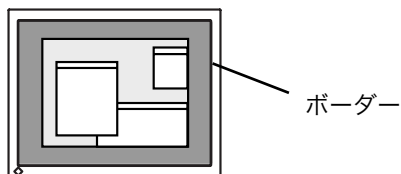
- ＜スムージング＞アイコンは、以下の解像度では選択できません。
 - 1280x1024 の場合
 - ＜拡大モード＞で解像度を 2 倍に拡大した場合
（例：640x480 を 1280x960 に拡大設定）

3. 画像が表示されない部分（ボーダー）の明るさを設定する場合

→  <ボーダー>で設定します。

「ノーマル」、「拡大」モード時には、画像の周囲にボーダー（画像が表示されない暗い部分）が表示されます。

<その他>メニューより<ボーダー>を選択し、左・右のコントロールボタンで調整します。



4-3. カラー調整

ScreenManager の<カラー>メニューで、ファインコントラストモードごとに独立した、カラー調整の設定、保存ができます。

アナログ信号のカラー調整をおこなうときは、まず<レンジ調整>(p.29)をおこなってください。

調整項目

ファインコントラストモードにより、<カラー>メニューで調整/設定できる機能が異なります。(表示メニューも異なります。)

○：調整/設定可 —：工場にて設定済み










アイコン	機能名		ファインコントラストモード					
			Custom	sRGB	CAL	Text	DICOM-CL	DICOM-BL
	ブライトネス	*	○	○	○	○	○	○
	色温度	*	○	—	—	○	—	—
	ガンマ	*	○	—	—	○	—	—
	色の濃さ		○	—	—	○	—	—
	色合い		○	—	—	○	—	—
	ゲイン		○	—	—	—	—	—
	6色調整		○	—	—	—	—	—
	ロック解除		—	—	○	—	—	—
	リセット		○	—	—	○	—	—

*これらの調整項目はファインコントラストメニューでも調整/設定ができます。
(参照 p.23)

注意点

- 調整はモニターの電源を入れて、20 分以上経過してからおこなってください。(内部の電気部品の動作が安定するのに約 20 分かかります。)
- <カラー>メニューの<リセット>を選択すると、ファインコントラストモードで選択しているモードの色調は初期設定(工場出荷状態)に戻ります。
- モニターにはそれぞれ個体差があるため、複数台を並べると同じ画像でも異なる色に見える場合があります。複数台の色を合わせるときは、視覚的に判断しながら微調整してください。

調整内容

メニュー	内容	調整範囲
ブライツネス 	画面全体の明るさを好みの状態に調整する	0～130%
色温度(p.48) 	色温度の選択 参考 <ul style="list-style-type: none"> ● 「K」表示は調整値の目安としてご利用ください。 ● 本設定は<ゲイン>を調整すると「オフ」になります。 ● 4,000K より低く、あるいは 15,000K より高くすると、設定が自動的に「オフ」になります。 	4,000K～15,000K まで 500K 単位で選択します。(9,300K 含む) 初期設定は 7500K です。
ガンマ(p.48) 	ガンマ値の設定 注意点 <ul style="list-style-type: none"> ● ガンマ機能についてはデジタル信号入力でのご使用をおすすめします。アナログ信号入力の場合は 1.8～2.2 に設定してください。 	1.8～2.6
色の濃さ 	色を鮮やかにする 注意点 <ul style="list-style-type: none"> ● 本機能を使用することにより、すべての色階調を表示できないことがあります。 	-16～16 最小値(-16)で白黒の画面となります。
色合い 	肌色などを好みの色合いにする 注意点 <ul style="list-style-type: none"> ● 本機能を使用することにより、すべての色階調を表示できないことがあります。 	-20～20
ゲイン(p.48) 	赤、緑、青をそれぞれ調整し、好みの色調にする 参考 <ul style="list-style-type: none"> ● 「%」表示は調整値の目安としてご利用ください。 ● 本設定は<色温度> (p.48参照) の設定をすると無効になります。ゲインの設定は何も調整していない状態に変わります。 	0～100% 赤、緑、青のそれぞれの明度を調整することにより、色調を自分でつくります。背景が白またはグレーの画像を表示して調整してください。
6色調整 	<色合い>、<色の濃さ>を Red, Yellow, Green, Cyan, Blue, Magenta それぞれ個別に調整する	色合い：-20～20 色の濃さ：-16～16
ロック解除 	CAL モードで設定された調整ロックを解除する	「ロック解除」を実行します。(p.34)
リセット 	選択しているファインコントラストモードのカラー調整状態をすべて初期状態に戻す	「リセット」を実行します。

キャリブレーション後のロック解除機能

本機専用のキャリブレーションキット(オプション p.47)を使用して、モニターのキャリブレーションをすることができます。CAL モードでキャリブレーションをおこなった後は、自動的に調整機能がロックされ、ブライトネスの調整ができなくなります。ScreenManager を使って、ロックを解除することができます。

[解除方法]

- (1) <カラー調整>メニューの<ロック解除>を選択します。
- (2) 「ロック解除」を選択します。



注意点

- <その他>メニューのリセット機能を実行すると、同時にロックも解除されます。
- ロックが解除されると、ロック解除アイコンは水色になり選択できなくなります。

4-4. 節電設定について

ScreenManager の<PowerManager>メニューで節電機能を設定できます。

注意点

- 完全な節電のためにはモニターの電源を切ることをおすすめします。また、電源プラグを抜くことで、確実にモニター本体への電源供給は停止します。
- モニターが節電モードに入っても、USB 機器が接続されている場合、USB 機器は動作します。そのためモニターの消費電力は、節電モードであっても接続される機器によって変化します。

アナログ信号入力の場合

本機は「VESA DPMS (p.49)」に準拠しています。

[設定方法]

- (1) コンピュータの節電機能を設定します。
- (2) <PowerManager>メニューより、「VESA DPMS」を選択します。

[節電の流れ]

コンピュータの状態		モニターの状態	電源ランプ
オン		オペレーションモード	青
節電モード	スタンバイ サスペンド オフ	節電モード	黄

[復帰方法]

キーボードまたはマウスを操作します。

デジタル信号入力の場合

本機は「DVI DMPM (p.49)」に準拠しています。

[設定方法]

- (1) コンピュータの節電機能を設定します。
- (2) <PowerManager>メニューより「DVI DMPM」を選択します。

[節電の流れ]

コンピュータの設定に連動し 5 秒後に節電モードに入ります。

コンピュータの状態	モニターの状態	電源ランプ
オン	オペレーションモード	青
節電モード	節電モード	黄
オフモード	節電モード※ ¹	黄点滅 (2 回ずつ)

¹ コンピュータのオフモードはプライオリティ機能が<マニュアル>に設定されている場合にのみ有効です。

[復帰方法]

コンピュータ/節電モードからの復帰: キーボードまたはマウスを操作します。
コンピュータ/オフモードからの復帰: コンピュータの電源を入れます。

第 5 章 USB (Universal Serial Bus) の活用

本機は USB 規格に対応しているハブを搭載しています。USB 対応のコンピュータまたは他の USB ハブに接続することにより、本機が USB ハブとして機能し、USB に対応している周辺機器と接続できます。

必要なシステム環境

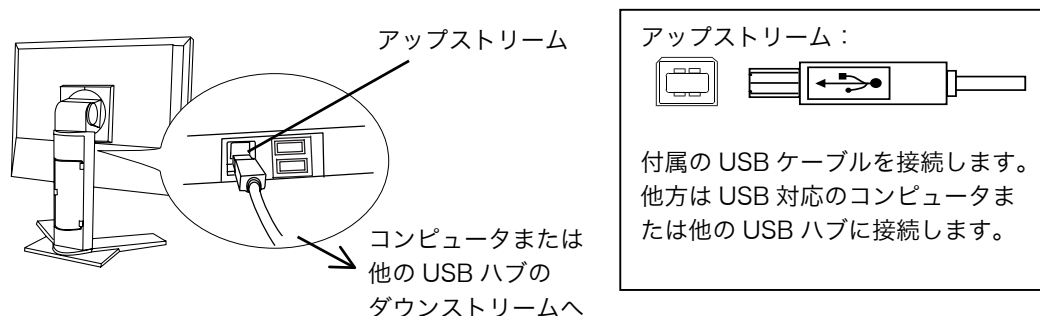
- USB ポートを搭載したコンピュータ、あるいは USB 対応のコンピュータに接続している他の USB ハブ
- Windows 98/Me/2000/XP または Mac OS 8.5.1 以降
- EIZO USB ケーブル (MD-C93)

注意点

- 使用するコンピュータおよび周辺機器によっては動作しない場合がありますので、各機器の USB 対応については各メーカーにお問い合わせください。
- 使用する機器は USB Rev. 2.0 対応のものをおすすめします。
- モニターの主電源が入っていないと、ダウンストリームに接続している周辺機器は動作しません。
- モニターが節電モードの状態に入っても、USB ポート（アップストリームおよびダウンストリーム）に接続されている機器は動作します。
- 以下は Windows 98/Me/2000/XP および Mac OS の場合の手順です。

接続方法 (USB 機能のセットアップ方法)

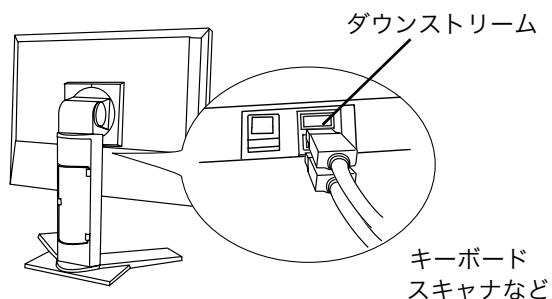
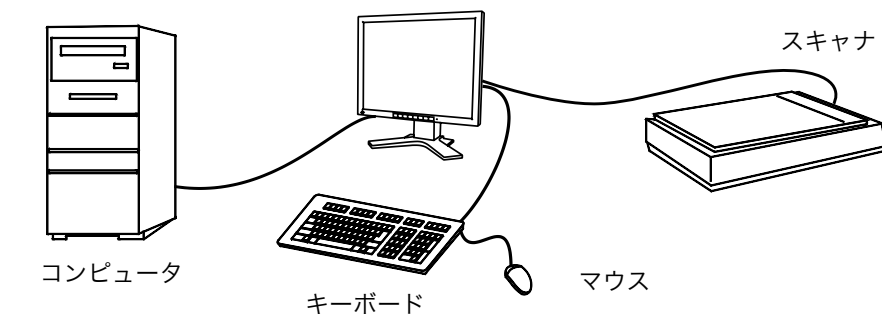
1. はじめにコンピュータとモニターを信号ケーブルで接続し (p.13参照)、コンピュータを起動しておきます。
2. USB 対応のコンピュータ (あるいは他の USB ハブ) のダウンストリームとモニターのアップストリームを USB ケーブルで接続します。



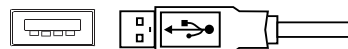
USB ケーブルの接続より自動的に USB 機能がセットアップされます。

- 3.** セットアップが完了すると、モニターが USB ハブとして機能し、さまざまな USB 対応の周辺機器をモニターの USB ポート（ダウンストリーム）に接続することができます。

接続例



ダウンストリーム：



USB 対応のキーボード、モデム、プリンタなどの周辺機器からのケーブルを接続します。

「ScreenManager Pro for LCD (Windows 用)」について

ユーティリティソフトウェア「ScreenManager Pro for LCD (Windows 用)」については「EIZO LCD ユーティリティディスク」CD-ROM を参照してください。

第6章 アーム取付方法

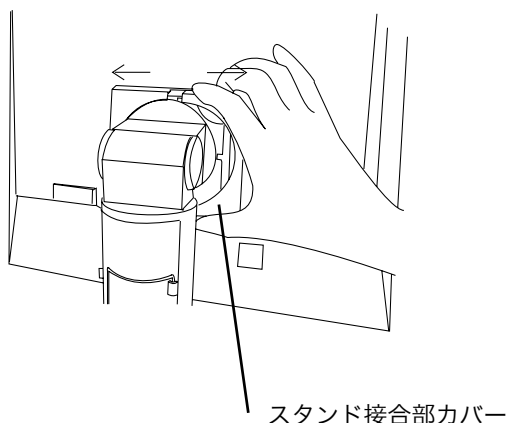
本機はスタンド部分を取り外すことによって、アーム（あるいは別のスタンド）に取り付けることが可能になります。

注意点

- 他社製のアームまたはスタンドを使用する場合は、以下の点をアームまたはスタンドメーカーにご確認のうえ、お選びください。
 - 取付部のネジ穴間隔：100 mm x 100 mm（VESA 規格準拠）
 - 耐荷重：モニター本体（スタンドなし）とケーブルなどの装着物の総重量に耐えられること
- ケーブル類は、アームを取り付けた後に接続してください。

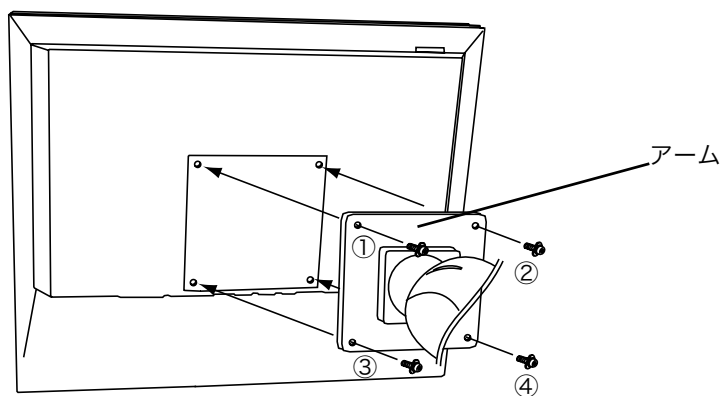
取付方法

1. スタンド接合部のカバーの中央部（上下）を押さえ、左右にスライドして取り外します。



2. 液晶パネル面が傷つかないように、安定した場所に柔らかい布などを敷いた上に、パネル面を下に向けて置きます。
3. スタンド部分を取り外します。（別途ドライバーを準備ください。）
ドライバーを使って、本体部分とスタンドを固定しているネジ（M4×15 mm BZn/Fe：4箇所）を取り外します。

4. モニターをアーム（またはスタンド）に取り付けます。

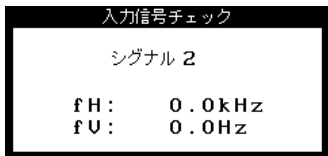
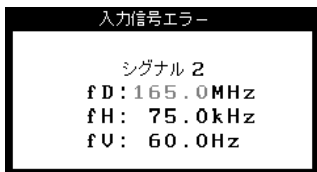


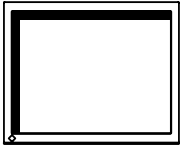

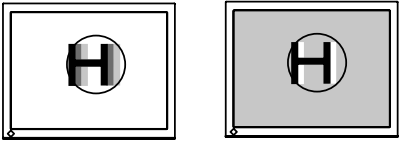


取付用ネジ：M4×15mm BZn/Fe：4箇所

第7章 故障かなと思ったら

症状に対する処置をおこなっても解消されない場合は、販売店またはエイゾーサポートにご相談ください。

- 画面が表示されない場合 → 項目 1、2 を参照してください。
- 画面に関する症状 → 項目 3～14 を参照してください。
- その他の症状 → 項目 15～20 を参照してください。
- USB に関する症状 → 項目 21～22 を参照してください。

症状	チェックポイント/対処方法
1. 画面が表示されない <ul style="list-style-type: none"> ● 電源ランプが点灯しない 	<input type="checkbox"/> 電源コードは正しく差し込まれていますか。電源スイッチを切り、数分後にもう一度電源を入れてみてください。
<ul style="list-style-type: none"> ● 電源ランプが点灯：青色 ● 電源ランプが点灯：黄色 ● 電源ランプが点灯：黄色（ゆっくり点滅） ● 電源ランプが点灯：黄色（2 回点滅） 	<input type="checkbox"/> ブライツネスの設定を確認してみてください。 <input type="checkbox"/> 入力切替ボタンで入力信号を切り替えてみてください。 <input type="checkbox"/> マウス、キーボードを操作してみてください。（→p.35参照） <input type="checkbox"/> 電源ボタンを押してみてください。 <input type="checkbox"/> コンピュータの電源を入れてみてください。
2. 以下のようなメッセージが表示される（この表示は約 40 秒間表示されます。） <ul style="list-style-type: none"> ● 信号が入力されていない場合の表示です。 	<p>この表示はモニターが正常に機能していても、信号が正しく入力されないときに表示されます。</p> <input type="checkbox"/> コンピュータによっては電源投入時に信号がすぐに出力されないため、左のような画面が表示されることがあります。 <input type="checkbox"/> コンピュータの電源は入っていますか。 <input type="checkbox"/> 信号ケーブルは正しく接続されていますか。 <input type="checkbox"/> 入力切替ボタンで入力信号を切り替えてみてください。
<ul style="list-style-type: none"> ● 入力されている信号が周波数仕様範囲外であることを示す表示です。（範囲外の信号は赤色で表示されます。）例： 	<input type="checkbox"/> グラフィックスボードのユーティリティなどで、適切な表示モードに変更してください。詳しくはグラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。

症状	チェックポイント/対処方法
<p>3. 画像がずれている</p> 	<p><input type="checkbox"/> <ポジション>調整で画像の左上を画面上のマーカーに合わせてください。(→p.28 参照)</p> <p><input type="checkbox"/> ご使用のグラフィックスボードのユーティリティなどに画像の位置を変える機能があれば、その機能を使用して調整してください。</p>
<p>4. 画像の一部が表示されない/余分な画像が表示される</p>	<p><input type="checkbox"/> <解像度>で入力信号の解像度と解像度調整画面の解像度が合うように調整してください。(→p.28 参照)</p>
<p>5. 画面に縦線が出ている/画面の一部がちらついている</p> 	<p><input type="checkbox"/> <クロック>で調整してみてください。(→p.27参照)</p>
<p>6. 画像が重なって見える/画像の右側に明るい線が見える</p> 	<p><input type="checkbox"/> <信号フィルタ>を調整してみてください。</p>
<p>7. 画面全体がちらつく、にじむように見える</p> 	<p><input type="checkbox"/> <フェーズ>で調整してみてください。(→p.27 参照)</p>
<p>8. 文字がぼやけて見える</p>	<p><input type="checkbox"/> <スムージング>で調整してみてください。(→p.30参照)</p>
<p>9. 画面の上部が下図のように歪む</p> 	<p><input type="checkbox"/> コンポジットシンク(X-OR)の信号とセパレートシンクの垂直同期信号が同時に入力されている場合に起こります。入力する信号をコンポジットかセパレートのどちらか一方にしてください。</p>

症状	チェックポイント/対処方法
10. 画面が明るすぎる/暗すぎる	<input type="checkbox"/> <ブライトネス>を調整してください。(LCD モニターのバックライトには、寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたりするようになったら、エイゾーサポートにご相談ください。) <input type="checkbox"/> 信号の入力タイミングが原因で、画面全体が緑がかって見えることがあります。シンクスイッチ設定を切り替えてみてください。(→p. 25 参照)
11. 残像が現れる	<input type="checkbox"/> 長時間同じ画像を表示する場合に、スクリーンセーバーを設定したり、タイマー機能を活用していますか。(→p. 24参照) <input type="checkbox"/> この現象は液晶パネルの特性であり、固定画面で長時間使用することを極力避けることをおすすめします。
12. 画面に緑、赤、青、白のドットが残るまたは点灯しないドットが残る	<input type="checkbox"/> これらのドットが残るのは液晶パネルの特性であり、故障ではありません。
13. 画面上に干渉縞が見られる/パネルを押したあとが消えない	<input type="checkbox"/> 画面全体に白い画像を表示してみてください。症状が解消されることがあります。
14. 表示された画面にノイズがある	<input type="checkbox"/> <ピクチャー調整>の<信号フィルタ>でモードを切り替えてみてください。
15. ScreenManager において、<ピクチャー調整>の<スムージング>アイコンが選択できない	<input type="checkbox"/> 以下の解像度においては選択できません。 ● 1280×1024 の場合 <input type="checkbox"/> <拡大モード>で「ノーマル」を選択時には選択できません。 <input type="checkbox"/> <拡大モード>で解像度を 2 倍に拡大した場合選択できません。(例：640×480 を 1280×960 に拡大設定)
16. ScreenManager のメインメニューが起動できない	<input type="checkbox"/> 調整ロックが機能していないか確認してみてください。(→p. 24参照) <input type="checkbox"/> ファインコントラストメニューが起動していませんか。(→p. 21参照)
17. オートボタンが動作しない	<input type="checkbox"/> オートボタンはデジタル信号入力時には機能しません。 <input type="checkbox"/> 調整ロックが機能していないか確認してみてください。(→p. 24参照)
18. モードボタンが動作しない	<input type="checkbox"/> 調整ロックが機能していないか確認してみてください。(→p. 24参照)

症状	チェックポイント/対処方法
19. ファインコントラストモード CAL モードにおいて、ブライトネス調整アイコンが選択できない	<input type="checkbox"/> キャリブレーションをおこなった後は、ブライトネス調整が自動的にロックされます。ロックの解除方法は p.34 を参照してください。
20. Windows 98/Me/2000/XP において、ユーティリティディスクをインストールしても周波数が変わらない	<input type="checkbox"/> グラフィックスボードのユーティリティソフトを利用して入力信号周波数を変えてみてください。
21. USB 機能のセットアップができない	<input type="checkbox"/> USB ケーブルが正しく差し込まれていますか。 <input type="checkbox"/> ご使用のコンピュータおよび OS が USB に対応しているかご確認ください。(各機器の USB 対応については各メーカーにお問い合わせください。) <input type="checkbox"/> Windows 98/Me/2000/XP をご使用の場合、コンピュータに搭載されている BIOS の USB に関する設定をご確認ください。(詳しくはコンピュータの取扱説明書を参照してください。)
22. コンピュータが動作しない／接続した周辺機器が動作しない	<input type="checkbox"/> USB ケーブルは正しく差し込まれていますか。 <input type="checkbox"/> 別の USB ポートに差し替えてみてください。別のポートで正しく動作した場合は、エイゾーサポートにご相談ください。(詳しくはコンピュータの取扱説明書を参照してください。) <input type="checkbox"/> 次の動作を試してみてください。 <ul style="list-style-type: none"> ● コンピュータを再起動してみる ● 直接コンピュータと周辺機器を接続してみる <p>モニター（USB ハブ）に接続しない状態で各機器が正常に動作する場合は、お買い求めの販売店またはエイゾーサポートにご相談ください。</p>

第8章 お手入れ

本製品を美しく保ち、長くお使いいただくためにも定期的にクリーニングをおこなうことをおすすめします。

注意点

- 溶剤や薬品（シンナーやベンジン、ワックス、アルコール、その他研磨クリーナなど）は、キャビネットや液晶パネル面をいためるため絶対に使用しないでください。

キャビネット

柔らかい布を中性洗剤でわずかにしめらせ、汚れをふき取ってください。（使用不可の洗剤については上記の注意を参照してください。）

液晶パネル面

- 汚れのふき取りにはコットンなどの柔らかい布や、レンズクリーナー紙のようなものをご使用ください。
- 落ちにくい汚れは、少量の水をしめらせた布でやさしくふき取ってください。ふき取り後、もう一度乾いた布でふいていただくと、よりきれいな仕上がりとなります。

参考

- パネル面のクリーニングには ScreenCleaner（オプション品）をご利用いただくことをおすすめします。

第9章 仕様

液晶パネル		48cm (19.0) 型カラーTFT、アンチグレア、ハードコート 2H 視野角：上下 170°、左右 170° (CR≥10)
ドットピッチ		0.294mm
水平走査周波数		アナログ信号入力時 30～82kHz (自動追従) デジタル信号入力時 31～76kHz
垂直走査周波数		アナログ信号入力時 49～86Hz (自動追従) (1280x1024 モード時は 49～75Hz) デジタル信号入力時 59～61Hz (VGA TEXT 時 69～71Hz)
解像度		1M ピクセル (1280 ドット×1024 ライン)
ドットクロック (最大)		アナログ信号入力時 135MHz デジタル信号入力時 108MHz
最大表示色		1677 万色
表示サイズ (水平×垂直)		376mm×301mm
電源		AC100V±10%、50/60Hz、0.6-0.5A
消費電力		最小 (通常)：55W 最大：60W (USB 使用時) 節電モード：8W 以下 (1 系統入力時、USB 機器未接続時) 電源スイッチオフ時：0W
信号入力コネクタ		DVI-I コネクタ×2
アナログ信号 入力同期信号		a)セパレート、TTL、正/負極性
		b)コンポジット、TTL、正/負極性
		c)シンクオングリーン
アナログ信号 入力映像信号		アナログ、正極性(0.7Vp-p/75Ω)
デジタル信号伝送方式		TMDS (Single Link)
ビデオ信号メモリー		アナログ 45 種 (プリセット 26 種) / デジタル 10 種
プラグ&プレイ機能		VESA DDC 2B
寸法	本体	414mm (幅) × 409.5～509.5mm (高さ) × 202.7mm (奥行き)
	スタンドなし	414mm (幅) × 340mm (高さ) × 64mm (奥行き)
重量	本体	8.1kg
	スタンドなし	5.8kg
環境条件	温度	動作温度範囲：0℃～35℃ 輸送および保存温度範囲：-20℃～60℃
	湿度	相対湿度範囲：30%～80% R.H. (非結露状態)
	気圧	気圧：860hPa～1060hPa
USB 規格	USB 規格	Rev. 2.0 準拠
	USB ポート	アップストリーム×1、ダウンストリーム×2
	通信速度	480Mbps (ハイスピード) 12Mbps (フルスピード) 1.5Mbps (ロースピード)
	供給電流	ダウンストリーム：最大 500mA/1 ポート
適合規格		VCCI クラス B

■主な初期設定（工場出荷設定）値

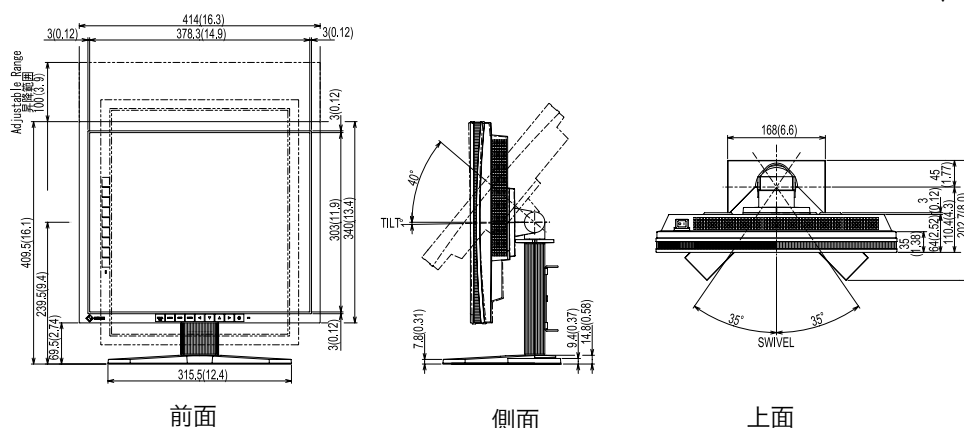
		アナログ信号入力時	デジタル信号入力時
ファインコントラストモード		Custom	
ブライトネス		100%	
色温度		7500K	
スムージング		3	
PowerManager		VESA DPMS	DVI DMPM
拡大モード		フルスクリーン	
入力プライオリティ		1	
オフタイマー		無効	
メニュー設定	サイズ	ノーマル	
	オフタイマー	45 秒	
ビープ音		オン	
言語選択		日本語	

■ビープ音設定

ピットという音	エンターボタンで項目を選択した場合 コントロールボタンで設定値を最大または最小にした場合 コントロールパネルの入力切替ボタンを押した場合
ピーという音	コントロールパネルのオートボタンを押した場合 エンターボタンで登録をおこなった場合
ピッピッピッピッという音	モニターの接続が正しくおこなわれていない場合 コンピュータの電源が入っていない場合 使用範囲外の周波数を受信している場合
15 秒に 1 度ピッピッという音	オフタイマーで設定した電源オフ時間終了 15 分前（予告期間）

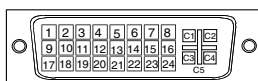
■外観寸法

単位 : mm (inch)



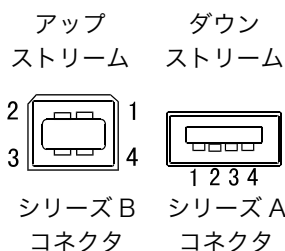
■入力信号接続

● DVI-I コネクタ



ピン No.	入力信号	ピン No.	入力信号	ピン No.	入力信号
1	TMDS Data2-	11	TMDS Data1/3 Shield	21	NC
2	TMDS Data2+	12	NC	22	TMDS Clock shield
3	TMDS Data2/4 Shield	13	NC	23	TMDS Clock+
4	NC*	14	+5V Power	24	TMDS Clock-
5	NC	15	Ground (return for +5V, Hsync and Vsync)	C1	Analog Red
6	DDC Clock (SCL)	16	Hot Plug Detect	C2	Analog Green
7	DDC Data (SDA)	17	TMDS Data0-	C3	Analog Blue
8	Analog Vertical Sync	18	TMDS Data0+	C4	Analog Horizontal Sync
9	TMDS Data1-	19	TMDS Data0/5 Shield	C5	Analog Ground (analog R,G,&B return)
10	TMDS Data1+	20	NC		(*NC: No Connection)

● USB ポート



接点番号	信号名	備考
1	VCC	ケーブル電源
2	- Data	シリアルデータ
3	+ Data	シリアルデータ
4	Ground	ケーブルグラウンド

■別売オプション品一覧

クリーニングキット	EIZO 「ScreenCleaner」
キャリブレーションキット	EIZO 「RadiCS RX1」

第 10 章 用語集

色温度<Temperature>

白色の色合いを数値的に表したものを色温度といい、K: ケルビン (Kelvin) で表します。炎の温度と同様に、画面は温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。

5000K: やや赤みがかった白色

6500K: 暖色で紙色に近い白色

9300K: やや青みがかった白色

解像度

液晶パネルは決められた大きさの画素を敷き詰めて、その画素を光らせて画像を表示させています。R12 の場合は横 1280 個、縦 1024 個の画素がそれぞれ敷き詰められています。このため、1280×1024 の解像度であれば、画像は画面いっぱい (1 対 1) に表示されます。

ガンマ

一般に、モニターは入力信号のレベルに対して非直線的に輝度変化していきます。これをガンマ特性と呼んでいます。画面はガンマ値が低いとコントラストが弱く、ガンマ値が高いとコントラストが強くなります。

クロック

アナログ入力方式のモニターにおいて、アナログ入力信号をデジタル信号に変換して画像を表示する際に、使用しているグラフィックスシステムのドットクロックと同じ周波数のクロックを再生する必要があります。このクロックの値を調整することをクロック調整といい、クロックの値が正常でない場合は画面上に縦縞が現れます。

ゲイン調整

赤、緑、青それぞれの色の値を調整するものです。液晶モニターではパネルのカラーフィルターに光を通して色を表示しています。赤、緑、青は光の 3 原色であり、画面上に表示されるすべての色は 3 色の組み合わせによって構成されます。3 色のフィルターに通す光の強さ (量) をそれぞれ調整することによって、色調を変化させることができます。

フェーズ

アナログ入力信号をデジタル信号に変換する際のサンプリングタイミングのこと。このタイミングを調整することをフェーズ調整といいます。クロックを正しく調整したあとでフェーズ調整をおこなうことをおすすめします。

レンジ調整

アナログ信号の出力レベルを調整し、すべての色階調を表示できるように調整します。カラー調整をおこなう前にはレンジ調整をおこなうことをおすすめします。

DICOM (Digital Imaging and Communication in Medicine)

米国放射線学会 (American College of Radiology) と北米電子機器工業会 (National Electric Manufacturers Association) が開発した医用画像と通信の標準規格です。DICOM に準拠した機器を相互接続することにより、画像検査情報や画像データの伝送が可能になります。DICOM Part 14 は DICOM 規格の中でデジタル医用画像の視覚的解釈を統一し、グレースケールイメージの表示について規格化したものです。

DVI (Digital Visual Interface)

デジタルインターフェース規格の一つです。コンピュータ内部のデジタルデータを損失なくダイレクトに伝送できます。

伝送方式に TMDS、コネクタに DVI コネクタを採用しています。デジタル入力のみ対応の DVI-D コネクタと、デジタル/アナログ入力可能な DVI-I コネクタがあります。

DVI DMPM (DVI Digital Monitor Power Management)

デジタルインターフェースの節電機能のことです。モニターのパワー状態については Monitor ON (オペレーションモード) と Active Off (節電モード) が必須となっています。

sRGB(Standard RGB)

周辺機器間 (モニター、プリンター、デジカメ、スキャナーなど) の「色再現性、色空間」を統一する目的で成立した国際基準のことです。インターネット用の簡易的な色合わせの手段として、インターネットの送り手と受け手の色を近い色で表現できます。

TMDS (Transition Minimized Differential Signaling)

デジタルインターフェースにおける、信号伝送方式の一つです。

VESA DPMS (Video Electronics Standards Association - Display Power Management Signaling)

VESA では、コンピュータ用モニターの省エネルギー化を実現するため、コンピュータ (グラフィックスボード) 側からの信号の標準化をおこなっています。DPMS はコンピュータとモニター間の信号の状態について定義しています。

第 11 章 付録

プリセットタイミング

注意点

- 接続されるコンピュータの種類により表示位置等がずれ、ScreenManager で画面の調整が必要になる場合があります。
- 記載されている以外の信号を入力した場合は、ScreenManager で画面の調整をおこなってください。ただし、調整をおこなっても画面を正しく表示できない場合があります。
- インターレースの信号は、ScreenManager で調整をおこなっても画面を正しく表示することができません。

工場出荷時に設定されているビデオタイミングは以下のとおりです。

表示モード	ドットクロック	周波数		極性	
		水平 : kHz	垂直 : Hz	水平	垂直
VGA 640×480@60Hz	25.2 MHz	31.47	59.94	負	負
VGA 720×400@70Hz	28.3 MHz	31.47	70.09	負	正
Macintosh 640×480@67Hz	30.2 MHz	35.00	66.67	負	負
Macintosh 832×624@75Hz	57.3 MHz	49.73	74.55	正	正
Macintosh 1152×870@75Hz	100.0 MHz	68.68	75.06	負	負
Macintosh 1280×960@75Hz	126.2 MHz	74.76	74.76	正	正
VESA 640×480@72Hz	31.5 MHz	37.86	72.81	負	負
VESA 640×480@75Hz	31.5 MHz	37.50	75.00	負	負
VESA 640×480@85Hz	36.0 MHz	43.27	85.01	負	負
VESA 720×480@60Hz	28.3 MHz	31.47	59.94	負	負
VESA 800×600@56Hz	36.0 MHz	35.16	56.25	正	正
VESA 800×600@60Hz	40.0 MHz	37.88	60.32	正	正
VESA 800×600@72Hz	50.0 MHz	48.08	72.19	正	正
VESA 800×600@75Hz	49.5 MHz	46.88	75.00	正	正
VESA 800×600@85Hz	56.3 MHz	53.67	85.06	正	正
VESA 1024×768@60Hz	65.0 MHz	48.36	60.00	負	負
VESA 1024×768@70Hz	75.0 MHz	56.48	70.07	負	負
VESA 1024×768@75Hz	78.8 MHz	60.02	75.03	正	正
VESA 1024×768@85Hz	94.5 MHz	68.68	85.00	正	正
VESA 1152×864@75Hz	108.0 MHz	67.50	75.00	正	正
VESA 1280×960@60Hz	108.0 MHz	60.00	60.00	正	正
VESA 1280×1024@60Hz	108.0 MHz	63.98	60.02	正	正
VESA 1280×1024@75Hz	135.0 MHz	79.98	75.03	正	正
SUN WS 1152×900@66Hz	94.2 MHz	62.00	66.10	負	負
SUN WS 1152×900@76Hz	107.5 MHz	71.90	76.20	負	負
SUN WS 1280×1024@67Hz	117.0 MHz	71.70	67.20	負	負

廃棄およびリサイクルについて

本製品の電子部品、プリント基板、金属部品等には重金属（鉛、クロム、水銀、アンチモン）、フッ素、ホウ素、セレン、シアン、ヒ素などが含まれています。ご使用後は、回収・リサイクルにお出してください。

● 法人のお客様

本製品は、法人のお客様が使用後産業廃棄物として廃棄される場合、お客様の費用負担でお引取りいたします。詳細については下記までお問い合わせください。

[エイゾーサポートネットワーク株式会社]

電話での問合せ受付	FAX での問合せ受付
076-274-7369（専用）	076-274-2416
月曜日～金曜日（祝祭日及び弊社休日をのぞく） 10：00～17：00	（24 時間受付） 但し、センターからの回答は同センター 営業時間帯（電話受付時間帯と同じ）

● 個人のお客様

本製品を家庭から一般廃棄物として廃棄される場合、お客様の費用負担でお引取りいたします。詳細については情報機器リサイクルセンターまでお問い合わせください。

[情報機器リサイクルセンター]

電話での問合せ受付	FAX での問合せ受付
03-5821-2778	03-5621-5695
月曜日～金曜日（祝日及び年末年始をのぞく）9：00～17：00	
インターネットでの問合せ受付	
http://www.pc-eco.jp	

廃棄およびリサイクルの情報については、弊社のホームページ (<http://www.eizo.co.jp>) もあわせてご覧ください。

製品に関するお問い合わせ先

EIZOコンタクトセンター 0120-956-812
受付時間：月～金 9：30～18：00（祝祭日、弊社休業日を除く）



株式会社ナナオ

〒924-8566 石川県白山市下柏野町 153 番地

<http://www.radiforce.com>

第 3 版 2010 年 2 月 Printed in Japan.

05C21411CK
(FA-1983-J)